



社会福祉法人恩賜財団

済生会呉病院

平成24年度 事業成績

医療部

3. 各部署の活動状況

①医療部

内 科

当科では各医師の専門領域を生かした診療を行うと共に、高齢化に伴い複数の疾病を合併された患者様への対応を医師間で緊密な連携を取りつつ行う努力や、より侵襲の少ない医療を行う技術の研鑽、在宅支援、生活習慣病への取り組みを積極的に行っている。

内科医師数は9名で、平成24年度に引き続き、地域保健分野での臨床研修医の受け入れを行う。9名の内訳は、松浦院長、木戸の2名が循環器系を、國田、伊藤、青木、吉岡、田中、宍戸、藤田の7名が消化器系を担当している。

当科では、診断分野では、経鼻内視鏡や拡大内視鏡も導入しており、FNAも行っている。治療分野ではペースメーカー埋込み術、ポリペクトミー、EMR、ESD、EPBD、ENBD、EPD、PTBD、PTGBD(A)、EIS、TAE、PEIT、RFA等の専門性を生かした治療を行っている。

また新たに吉岡京子医師が炎症性腸疾患外来を開設した。

高齢者の在宅支援の一環として内視鏡的胃瘻造設術や、IVHポート埋込みなどを行っている。

また、松浦院長による高血圧専門外来、木戸医師による禁煙外来などを開設し、生活習慣病予防にも取り組んでいる。

平成24年度の主な検査処置件数は以下の通りである。

心臓超音波検査	591件
頸動脈エコー検査	108件
トレッドミル負荷テスト	41件
IVHポート埋め込み術	0件
ペースメーカー埋め込み術	0件
一時ペーシング	0件
静脈フィルター留置	0件
上部消化管内視鏡(処置を含む)	2,978件
下部消化管内視鏡(処置を含む)	597件
超音波内視鏡	26件
ERCP(処置を含む)	78件
経皮経肝的胆道処置	32件
腹部超音波検査	1,863件(ドック、健診を含めず)
エコー下肝生検	26件
PEIT	0件
RFA	7件
EIS	15件
腹部血管撮影(処置を含む)	12件

外 科

診療体制

現在木村まり医長、満田裕医長の二名体制で行っている。

診療内容

外来は連日午前中に消化器・一般外科診療、人間ドックの乳癌検診(視触診、マンモグラフィ)、乳癌検診の二次精査を行っている。午後は消化器癌 や乳癌の外来化学療法を施行している。

外来診察は予約を中心に、紹介なしの新患や他医からの紹介患者も積極的に受け入れている。紹介患者は地域連携室を通じて予約日時を設定、待ち時間の短縮を図り、紹介先への報告も迅速に行っている。診療内容は外傷や熱傷等の一般外科をはじめ、胆石症、単径ヘルニア、慢性甲状腺炎、気胸などの良性疾患、胃癌、大腸癌、肝臓癌、乳癌などの悪性疾患まで広範囲に標榜している。

手術は月・木・金曜日の午後に麻酔科医師を招聘して行い、外来手術もそれ以外の曜日に適宜実施している。肝臓癌や胆道癌の高難度手術も二名で行っているが、腹腔鏡下胃・大腸手術等の際は広島大学第二外科に医師の応援を依頼している。夜間の急患には対応困難な場合もあるが、麻酔科医師の来院可能日に緊急手術を行うこともあり、院内での急患にはほぼ対応している。

入院診療では、各待機手術の症例をはじめ、急性腹症などの急患、褥瘡等の慢性疾患や癌化学療法、癌の緩和医療、終末期医療患者に至るまで、多様な症例に対応している。他医からの紹介患者も可能な限り受け入れている。

スタッフとの連携では、不定期に病棟カンファレンスや抗癌剤の勉強会等を行い、院内委員会、研修会へも出来る限り参加している。緩和ケア講習は両医長とも修了した。

診療実績

平成24年度(平成24年4月から平成25年3月末)の手術症例は以下の通りである。

平成24年度(H24/4/1～H25/3/31)		外科手術症例
	手術術式	手術件数
1	腹腔鏡下胆嚢切除術	33
2	開腹胆嚢切除術(胆石症、胆嚢癌)	4
3	総胆管截石術	9
4	胃悪性腫瘍手術	11
5	肝切除術	4
6	腹腔鏡下結腸・直腸悪性腫瘍手術	4
7	開腹結腸・直腸悪性腫瘍手術	13
8	単径・臍ヘルニア手術	12
9	乳腺悪性腫瘍・甲状腺手術	5
10	痔核手術	1
11	中心静脈アクセスポート手術	4
12	虫垂炎手術	4
13	その他(緊急手術等)	16
計		120

整 形 外 科

平成 24 年度の整形外科常勤医師スタッフは、5 年連続大本 修、中村友彦の常勤医 2 名体制で行った。

外来診療は午前のみで、午前 9 時より 1 診体制で、午後は、火曜日に病棟看護師、理学療法士、MSW、医事課スタッフとともに総回診および合同カンファレンスを行っている。

手術は、麻酔科からの応援可能な月、木、金曜日の午後に、小手術は火、水曜日の午後を中心に行っている。

平成 24 年度の全手術症例は、107 件であり、5 年連続で 200 件を下回る結果となった。

以下の表は、当科が 2 名体制となってからの年度別の手術症例数を示している。

また、当科は日本整形外科学会専門医制度の研修施設の認定を受けているが、その資格として入院患者 20 名以上、年間手術件数 100 例以上等の条件があり、近年、小規模施設の間で、認定取り消しや、辞退が増加している。平成 25 年度も引き続き、大本 修、中村友彦の常勤医 2 名体制で、一般整形外科治療を担当することになるが、入院患者 20 名以上、年間手術件数 100 例以上を最低目標として診療業務を行いたいと考えている。

年 度	平成 6 年度	平成 7 年度	平成 8 年度	平成 9 年度	平成 10 年度	平成 11 年度
医師名	中光 清志	→	竹本 正瑞	→	室積 正人	→
	加藤 誓	柏木 健児	→	→	→	田中 隆治
手術件数	47 件	127 件	151 件	150 件	152 件	178 件
年 度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
医師名	→	→	→	→	→	砂川 融
	→	宮本 礼人	→	大前 博路	大本 修	→
手術件数	189 件	194 件	181 件	164 件	205 件	320 件
年 度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
医師名	大本 修	→	→	→	→	→
	渋谷 早俊	松尾洋一郎	中村 友彦	→	→	→
手術件数	247 件	272 件	187 件	156 件	126 件	134 件
年 度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
医師名	→	→	→	→	→	→
	→	→	→	→	→	→
手術件数	107 件					

眼 科

月曜日から金曜日までの午前に外来診療を、平日の午後は主に手術をしています。

平成 24 年度は 782 症例の手術を行いました。そのうち白内障手術が中心で 658 件でした。

広島大学関連病院で白内障手術件数は大学病院、県病院について3番目だったそうです。

眼内レンズ逢着は 13 件、眼瞼下垂が 16 件、緑内障7件、眼瞼内反症8件、硝子体注射などの疾患が 58 件でした。その他、外来にてもケナコルトテノン嚢注射を 100 件以上行っております。

現在、眼内レンズ逢着は3mm の小切開からを中心に行っております。最近は緑内障手術(線維柱帯切開術)との同時手術も増えています。

レーザー治療は、糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症などの網膜虚血性疾患や網膜裂孔に網膜光凝固を、白内障手術後に後嚢切開を行っております。こちらは変わりありません。

硝子体手術装備はありませんので当院で出来る範囲を考えて適応をしっかり考えていたいと思います。